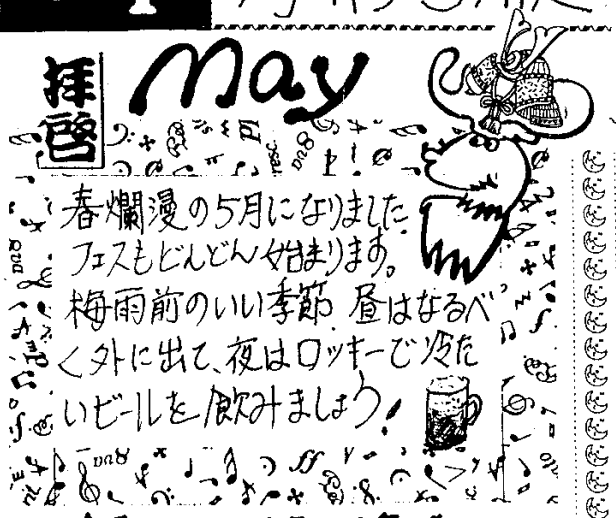
PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第54号
'00, 5, 1 発刊

Yeah! オーナー No13
～奇行その1～ 作、チーフ井上

そして一週間後、

拝啓 May



今月の田口マスターの動き

今だに免悟、もしくは免取の通知が来ない田口氏。今回はスポッツ&ビビリネタ

①鏡の前で少林寺、そして…→若い頃、少林寺拳法をやっていた田口氏。ストレスがたまったある日、となりのゴールデンハートの鏡の前でグローブまでつけて型をやった。

②路上ビビリ事件→ロッキーへ通勤中のある日、目の前に異様にとろい車がいた。あおりまくったがくく停車したその車の横につけてみると…

人の良さと弱さを兼ねそなえた日本人中の日本人、田口マスターの今後はいかに…… つづく

チーフ井上の初体験コーナー
～乗馬の巻～

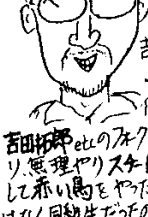
去る4/8(土)、水戸の地雷屋というところでチーフ井上とフォークシックボーイズのライブを行いました。その時のお客さんで上野ひろ子さんというおばちゃんがいました。18才の頃ジミー時田のバンドに所属「福田ひろ子」の名で1枚レコードもだしている人だ。ゲストで3曲歌ってもらいました。ジミーさんのことを思いだして泣いてしまう一幕も…。すると「うちの牧場に来なさい」彼女は夫と共に上野牧場を経営しているのだ。そして次の日、今回のライブを主催してくれた斉藤さん、ギターの南、ベースの石塁と共に牧場へ。3人共初めて馬に乗りました。馬のリズムに合わせて腰を上げ下げしつつ手綱をしっかり持って右へ左へ誘導する。これが意外に難しく、ひろ子さんには「ほい！しっかり手綱を引く！」「腰をもっと上げろ」「胸を張れ」などと檄を飛ばされ、15分くらいでくたくたになりました。高所恐怖症の人にはつらいでしょう。かなり高く感じます。ベースの石塁などはすっかりおびえて、でっかい体で泣きそうになりながらしがみついていました。斉藤さんも命がけ。興さんは見られないとばかり姿を消してしまいました。

でもとても楽しい体験で、とにかく生き物の上にいる興奮を感じました。しかし次の日、全員筋肉痛。コツを覚えるともっと楽に乗りこなせるそうです。あー、これもまたはまりそうだ。色々とやりたいチーフ井上でした。

お客さんからの贈り物
杉谷さんの「絵」

ステージ向かって右側の壁の前の方にウエスト・オブ・ザ・ムーンのオンボ谷さんが書いた絵があります。4年前の水戸フェスにあがるアンティーオウエンズバンド(ギターはスティーブ・カフェン)を描いています。非常にリアルで繊細なタッチのかっこいい絵です。是非見て下さい！杉谷さんは「希望には さし上げたい」と言ってた気がしますが、ロッキーの壁が一番似合ってると思うんですが…。そういえばウエスト・オブ・ザ・ムーンのベース長岡さんが九州へ帰るため、バンド活動はしばらく休止。とっても残念です…。

ブルーグラスな人達 ～Meet The Bluegrass～



ブルーグラスとの出会いを通してブルーグラスを考察するこのコーナー。今回はkeepOn The Grassのボーカリスト、そしてOne&Onlyのドブロ水吉俊幸さん(43)です。興さんの郁子さんは結婚直後、俊幸さんが九州がになる夢を見たそうで現在それが的中しつつある。それはさておき、つまらなさそうにやる人が多いブルーグラス界の中で常に笑顔を絶やさずソフトでジャージーなボーカル。そんな水吉さんのブルーグラス物語です。

本当はユーミンが好きだった…

→小学校1年の学芸会で木琴を弾いたのを先生にほめられ学校の選抜メンバーに選ばれたのが始まり。俺は楽器がうまいんだと潜在的にすりこまれてしまった。自分からすすんで楽器をやり出したのは、中学の時吉田拓郎etcのフォークブームに自分も遅れてはなるものかと親にねだって買ってもらったガットギター。その後フォークギターの存在を知り、無理やりスチール弦をはった。広く浅くいろんな音楽を聴き、文化祭では弾き語りやエレキギターでバンドに加入して赤い馬をやった。そして高校に入った。新入生歓迎会のステージでえらくギターのうまい男を見た。なぜか彼は先輩ではなく同級生だったのだが「あの人にお近づきになりたい！」そう思って近づくと「俺ブルーグラスやってんだよ。一緒にやろうぜ！」といきなり誘われる。彼はバンジョーを担当、水吉さんはギター・ボーカル、ベースを加え、トリオのブルーグラスバンドを始める。バンジョーの彼こそが後にkeepOn The Grassも共にやる池田さんだった。ブルーリッジから高石ともやまでやった。しかしブルーグラス以外にも色々聴いていて、一番ショックだったのがユーミン。それは音楽人生最大ビルボードロードとの衝撃だった。そしてユーミンバンドのギターを担当した。ジャズもかじったりして、今の複雑なコードの曲にも対応できる水吉さんが養われていたと思われる。そして大学(電通大)に入る。水吉さんはセルタムシンの音楽もさることながらメンバーの生き方に感銘していた。自分の仕事をもちつつ、やれる音楽、それはブルーグラスしかない！と決めつけて大学でもブルーグラスを選んだ。ユーミンの道は捨てたのだ。そして盟友池田と共に大学で作ったバンドがkeep On The Grass。オーソドックスなブルーグラスからジャージーな曲、スイングなどを取り入れ、この辺から鉄かぶと一派に吸収されていたのだ。ドブロを遊びで弾いていたのをOne&Onlyの金森さんに発見され、大学卒業後、吸収されてOne&Onlyにドブロ5弾きとして加わる。keepOn～はその後メンバーがばらばらになってできなくなったが、One&Onlyはそれからの年数のメンバーである。そして3年ほど前にkeepOn～が復活。今はスタのメインボーカリストとして張りきっている。今後もkeepOn Grassだから、keepOn Pickin'楽しくやっていきたい。音楽は楽しいので自然に笑ってしまうのだそうだがwhite Loveだけは笑いながら歌わないようにしましょう。

Pick Up Live!

5/15(月) アイリッシュ Special Night ～クルティック坂本バンド～
グラスアルファでおなじみの坂本さんが、ここんと追求してるアイリッシュ。自分のバンドを率いてロッキー初出演です！

5/20(土) オールドタイム サタデーナイト エージェント・オブ・K、ユニオングローブ
黒川香さん、久々のロッキー出演。素朴かつ官能的なオールドタイムを思いっきり味わって下さい！

5/30(火) ジェフ・ホワイト初来日
ビンスギル、アリソンクラウスのバックをつとめた人。ft. Ma. ジェフ・サンジーと共に絶チクで思いっきりブルーグラスをやってくれます。バンドチャージ¥2,300